
日付:2006年6月16日

提出元:ソフトバンク BB

題名: FTTR 形態システム導入判定基準値(対局)について

1. はじめに

既存の局内設置システムの保護の観点から、FTTR 形態システム導入に当たっては新しい FTTR 形態システム導入判定基準値の定義が必要となる。本寄書では、対局システムに対する、新しい FTTR 形態システム導入判定基準値について説明する。

2. FTTR 形態システム導入判定基準値(対局)について

FTTR 形態システムの導入に当たり、第 3 版のクラス A、A' 及び G 章のバンドプラン・PSD マスクにより保護されているシステムの伝送性能を劣化させていなかどうかの確認が必要となる。クラス A、A' 以外のシステムについては保護判定基準値が定義されていないため、新たな FTTR 形態システム導入判定基準値(対局)が必要となる。以下に FTTR 形態システム導入判定基準値(対局)の計算方法について記載する。

(FTTR 形態システム導入判定基準値(対局)の計算方法)

- 判定対象局システム : クラス A、A' システムの各代表システムに加えて、G.992.1 Annex 1 DBM (FDM)、クアッドスペクトル ADSL DBM、G 章 PSD+
- 計算方法 : FTTR 形態システム導入判定基準値(対局)の計算方法は、各判定対象局システムに対して、判定対象局システムが同一カッドを含む 5 回線を与干渉源とした時の伝送性能を第 3 版 A 章に示す手法を用いて換算線路長 0.5km から 5km まで(クラス A' については 0.5km から限界線路長まで)0.25km 刻みで求め、各換算線路長においての最小値を FTTR 形態システム導入判定基準値(対局)とする。クラス A'、C について、限界線路長を超える保護判定基準値は定義されない。

以下に FTTR 形態システム導入判定基準値(対局)の計算結果について記載する。

換算 線路長 (km)	G.992.1 Annex I (DBM)		クアドスペクトル ADSL システム (DBM)		G 章 PSD+	
	DS	US	DS	US	DS	US
0.5	12,896	832	19,136	832	26,176	12,320
0.75	12,192	832	17,632	832	19,936	4,832
1	11,360	832	16,800	832	14,752	2,944
1.25	9,408	800	12,864	800	8,256	832
1.5	7,968	800	9,056	800	5,056	768
1.75	6,432	768	6,528	768	3,072	736
2	5,120	736	5,120	736	1,984	704
2.25	4,096	704	4,096	704	1,216	640
2.5	3,360	672	3,360	672	736	576
2.75	2,752	608	2,752	608	448	512
3	2,304	576	2,304	576	320	448
3.25	1,888	512	1,888	512	192	352
3.5	1,536	480	1,536	480	128	288
3.75	1,248	448	1,248	448	64	224
4	1,056	416	1,056	416	32	192
4.25	864	416	864	416	0	160
4.5	736	384	736	384	0	128
4.75	576	352	576	352	0	96
5	352	352	352	352	0	64

表 1 FTTR 形態システム導入判定基準値(対局)

以上